

「日本銀行当座預金決済における次世代 RTGS の展開」  
に寄せられたご意見

2006年2月3日

日本銀行

「日本銀行当座預金決済における次世代 RTGS の展開」  
にご意見を寄せられた関係者

取引先 (7 先)

外国銀行	JP モルガン・チェース銀行
信用金庫	信金中央金庫
組合金融機関等	農林中央金庫
短資業者	セントラル短資 (短資業界幹事)
証券金融会社	日本証券金融
証券会社	野村證券、日興コーディアル証券

取引先以外 (3 先)

協会	全国銀行協会
その他	スイフト・ジャパン、LogicaCMG

(注) 頂戴したご意見のうち、技術協力のお申し出 (スイフト・ジャパン、LogicaCMG) については掲載を省略しております。

## JP モルガン・チェース銀行

御行の上記記載のペーパーにつきまして、以下の通りコメントさせていただきます。

弊行では従来より、日本の決済システムについて、その安全性、利便性及び経済性について国内・国外において内部での討議を行ってまいりました。海外の決済システムにおいては、主要通貨について、大口決済・小口決済の切り分けが進み、大口決済の決済リスクの削減にそれぞれの方法で取り組んできております。この流れの中で、日本の決済システムに関して、海外円・国内円で決済システムが異なっていること、RTGS での決済が顧客取引にまで及んでいないこと、システム接続の際のプロトコルの特殊性などがたびたび議論されておりました。

このたびの御行のご提案は、2001年に導入された RTGS システムに大口の円決済を取り込み決済の即時性を備えると共に、流動性節約機能を導入することにより参加者に対するシステムの利便性および、流動性調達コストの削減を可能とする点で、世界的な流れに沿った方向であるだけでなく、さらにそれをリードするものであり、弊行としても全面的に賛成すると共に、ぜひともその早期実現をお願いしたいと思っております。

また流動性節約機能として、マルチラテラル・オフセットの機能の導入を明示されておられることは、今後、市場取引が活発化するなかでスムーズな決済を行うにあたって重要なファクターであり、ご提案に対し、積極的にご支持申し上げる次第です。今後決済の際に想定される「すくみ」を解消する方法等、アルゴリズムについて、最も効果的な、そして柔軟なシステム設計を切にお願い申し上げます。

弊行といたしましては、内国為替の大口取引に関しても、現在予定されている 2011 年を出来る限り前倒しで取り込みを行っていただきたいとの希望

を持っておりますが、これにつきましては、色々なご意見があると思いますので、「大口取引の即時決済の早期実現希望」を重ねて申し上げるのみとさせていただきます。

末尾ながら、外銀も含めて円の決済機能を外部委託する傾向は顕著であり又銀行数の減少が予測され得る現状を鑑みますと新システムの稼動時に節約機能を担保しうる参加行数がシステム運用上の一つのポイントになるかと思われます。

今後のシステム要件等詳細の早期の開示をお待ち申し上げます。

以 上

## 信金中央金庫

貴行の次世代 RTGS への取組についての趣旨に賛同するとともに、標記資料について特に意見はないことを報告いたします。

以 上

## 農林中央金庫

わが国の大口資金決済システム全体の安全性・効率性の一段の向上を狙いとした今回の「次世代 RTGS」にかかる構想については、市場決済基盤の安全性・資金効率性の維持・向上に資するものであり、また導入スケジュールも参加者のシステム面・実務面・取引慣行面などの負担やリスクに配慮した段階的構想となっていることから、当金庫としてこれに賛同いたします。

なお、次世代 RTGS システムの前広な仕様公開等については、十分な配慮を願いたいと考えます。

以 上

## セントラル短資（短資業界幹事）

現行 RTGS において、資金決済等に関する市場慣行を市場参加者が遵守することにより、短期金融市場はこれまでのところ大きな混乱もなく機能してきた。

混乱なく機能した要因は、

- ①量的緩和政策の環境下、各金融機関の手元流動性資金が潤沢であったこと
  - ②日本銀行が差入担保に見合う金額について日中当座貸越を提供したこと
- 等を背景に、決済遅延は回避されてきたと思われる。

今後予想される量的緩和解除に向けて手元流動性資金も薄くなり、場合によってはいわゆる「資金のすくみ」が起こることもないと危惧しています。その解決策として流動性節約機能を備えた次世代 RTGS の構築に期待するところが大きく、効率性のある決済システムとして構築を計画通りに進めて頂きたい。

コール資金の媒介・仲介をする短資業界からの意見としては、

- (1) 次世代 RTGS への移行において、コール市場参加者間のシステム対応や取組対応については同一レベルの対応が理想と思われる。しかし、参加者間のその対応には差異が生じることも当然推測される。その結果、資金管理や約定時におけるフロントやバックの実務負担は相当大きくなるのではないかと懸念している。システム面を含めて実務的な観点からも、市場参加者自身が次世代 RTGS の枠組みを理解し、十分に検討しておく必要があるかと思われる。
- (2) 市場参加者のフロント業務における約定時の確認事項の検討や、バック業務での事務混乱をなくすためにも、次世代 RTGS の展開に見合った市場慣行の整備も検討していく必要があると思われる。
- (3) システム投資や資金管理等に、新たなコストや人員等が必要になると

想定されるが、すべての面で優しいシステム構築をお願いしたい。

以 上

## 日本証券金融

当社は、流動性節約機能付 RTGS を主にコール取引で利用することを見込んでいるが、グロス決済取引について「待ち行列機能」は資金効率面で非常に有用と考えている。しかしながら、コール市場参加者がすべて次世代 RTGS に参加しなければ、資金決済が二重管理となることから、システムおよび事務負担が大きくなることは否めない。

従って、次世代 RTGS 参加者の利便性を極力高めていくには、新規機能の有用性を PR することは勿論のこと、すべての市場参加者に対し、当局が次世代 RTGS への参加を積極的に働きかける必要があると考える。

以 上

## 野村証券

- ① 待ち行列機能と複数指図同時決済機能を兼ね備えた流動性節約型 RTGS においては、確かに流動性調達コストの引下げと決済の迅速化が図られます。ただし、多くの参加者が当該機能（専用口座）を利用しなければその効果も薄れ、かえって処理が煩雑になると思います。従って、多くの当座預金取引先が当該機能を利用することが望ましく、実務面での負担の軽減や市場慣行の見直しなどを図り多くの取引先が利用するよう推進頂きたいと思います。
- ② 複数指図同時決済機能の効果を高め且つ処理の煩雑性を回避するためには、当該機能を利用する取引先であるか、利用しない取引先であるかを何らかの方法で公表することが必要かと思えます。つまり、2者間同時決済等が行われることを想定し専用口座での支払指図を投入したにもかかわらず、相手方がそもそも当該機能の利用先でなければ2者間同時決済等が行われず、専用口座での支払指図を取消し通常口座での支払指図を新たに投入するという煩雑な作業を行う必要があります。
- ③ 御行との1時または3時同時処理において決済されているオペの資金決済についても流動性を節約する上では即時での決済が望ましいと思われまので、オペについても即時決済への移行の検討が必要ではないかと思えます。
- ④ 当社は当預決済について CPU 接続を利用し電文の送受信を行っていますが、当該機能を利用するにあたってはシステム開発が必要です。従って、システム開発コストと当該機能を利用した場合の効果を十分に見極めた上で利用の要否を判断することとなりますので、この判断材料となる情報も可能な限り公開して頂きたいと思えます。

以 上

## 日興コーディアル証券

当社は、現行 RTGS の資金効率・安全性の一段の向上を図るものとして、次世代 RTGS の展開を行うことには意義があるものと考えます。ただし、現時点においては市場慣行を含めた次世代 RTGS 下での決済運営の詳細については確立されておらず、今後、御行及び取引金融機関等で議論を充分重ねた上で具体的対応を検討していく必要があると考えています。以下においては、この基本姿勢に基づいて、意見を述べたものです。

### ●スケジュール関係

現時点で提示されている資料等を拝見する限り、次世代 RTGS へのシステム対応については、かなりの開発規模になることが想定されることから、次世代 RTGS の仕様等の早期開示（ランニングコスト等含む）および開示から利用開始までに十分な準備（移行）期間を設けていただくことを希望する。

### ●次世代 RTGS 運用関係

次世代 RTGS の有効活用を行っていくためには、より多くの金融機関（取引先）が参加することが望ましいと考える。そのための施策をご検討いただきたい。

- ・ 専用口座利用時のランニングコストを安くする
- ・ 専用口座の開設について、希望先ではなく日銀ネット参加者全てとする等、

導入メリットを拡充する。

また、次世代 RTGS の導入は、事務処理の観点では、振替指図投入の迅速化が図れる一方、同時担保口を含めて3口座分の残高管理・決済データ管理に加えて、取引先との決済口座確認等が必要となることから事務負担が増大する面もあると考えられる。現在提示されているシステム機能について見直しや追加等を行うことにより事務負担を軽減することができないか再検討いた

だきたい。

- ・専用口座間での振替のみ可能となっている現在の仕様を専用口座と一般口座との間での振替も可能とする仕様に変更する等。

以 上

## 全国銀行協会

当協会では、平成 16 年 3 月に「大口決済システムの構築等資金決済システムの再編について」と題する提言をとりまとめ、日本銀行に対し、日銀ネットにより大口決済システムを実現するよう協力を要請していたところであるが、今般、日本銀行から公表された標記の件については、同提言の内容を反映したものであり、全面的に賛意を表明するとともに、早期の実現を改めて強く要請する。

標記内容は当方の提言の内容が大筋盛り込まれたものであると評価しており、当協会としても今回公表された次世代 RTGS の展開について全面的に協力する考えであるが、その実現のためには下記の点にご配慮のうえ検討を進めていただきたい。

### 記

1. 日本銀行当座預金決済における次世代 RTGS（以下「次世代 RTGS」という。）のシステム要件等については、今後、詳細が検討・決定されるものと思われるが、銀行界の提言内容を十分に踏まえた検討を要請する。
2. 次世代 RTGS の利用者のシステム開発の関係上、システム要件・開発スケジュール等については前広に開示されたい。

以 上